

③目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 10 16 19 24 49	コロナ禍で思うように、ご入居者がご家族と一緒にの外出や四季に応じた外出が進展しなかった。また、日常の暮らしの中でも、ご入居者とご一緒に散歩などの機会が不足していた。	コロナ感染も終息に向かいつつある中で、積極的にご家族と過ごされる時間を増やしていく。四季を肌で感じられるように、日常の暮らしの中で散歩や外出の機会を増やしていく。	・1年間の四季を感じられる行事を行う。その行事に、ご家族も一緒に参加していただく。 ・個々、ご家族との関係性の違いがあるので、担当者を通じて個別にご家族との関係性を深め、負担のない程度に関わりを持ってもらう。	12か月
2	23 24 25 48	ご入居者一人ひとりが、自らの意思でできることや役割、楽しみごと等への支援が不足している。	日々の業務が忙しいからと諦めるのではなく、認知症があってもできることや認知症によってしづらくなっていることを見極め、利用者自らが主役となる暮らしができるようになる。	・何を望んでいるのか、ご入居者の声をきく。 ・ご入居者の状態を把握するためのアセスメントを行ない、カンファレンスで支援の方向性を話合う。 ・ご家族も含めたチームワークで支援を行なう。 ・日々の暮らしの中で、ご本人が望む役割や楽しみごとの支援を行なうことに努める。	12ヶ月
3	4 35	災害時の避難対策が事業所内で十分に共有できていない。	想定される災害(地震、火災等)に備えて、情報を共有し、訓練実施につなげる。	・事業所内において、消防訓練とは別に災害時避難訓練を行う。 ・七里自治会様と防災訓練を行う。	12か月
4	23 36 39 42 52 54	職員間の報告・連絡が食事作りの職員に伝わっていない。申し送り等、利用者への配慮がない。利用者への言葉づかいが緩くどのような言葉掛けが適切であるか、明確にする必要がある。認知症の理解が不十分であり、知識不足に気付いていない職員もいる。施設内の環境整備が出来ていない。口腔ケアが認知症の進行により難しい。	・職員間の伝達方法や、言葉づかいは慣れがある事で気づきにくくなってきている。常に振り返る場を設ける。 ・認知症の理解を深める ・施設内の環境面、入居者の整容面を職員全体で意識して取り組む。	・伝達の方法や内容を、明確に決め実践していく。 ・気になった言葉づかいを明確にし、常にカンファレンスで振り返る。良い言葉づかいも明確にし、意識を高める。利用者の1人1人の認知症の理解を深める為にも、個別カンファレンスを活用し深めていく。 ・施設内の環境整備は、少しの時間でも空いている時間を有効に使う意識をもつ。 ・入居者の整容面は曖昧にせず、起床時、就寝時をもとより、日常の暮らしの中で意識して行う。	12か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。